

## 【放課後の教室の設定】

ねえ  
キ

二二二

いじつちに来なよ

大丈夫、今はボク以外誰もいないよ？

暇な放課後を廻る事でこの辺でボクシングしたかったね。ははは……だから、こんな感じで暇な感じでボクシング遊びで

## 【主人公入室】

卷之三

井戸の水を飲むと腹にならでたはと、初めて会えたね。

ふうつ。」まかしたつて無駄だよ?

昨日もその前も……先週だって

ハノハ 祖國には毎戻たの

「いやでも、たゞやせんストーカー」あつしかたから……

変な勧誘だつてひつもつたなし。黙つていいふのまゝのかうだよね、わづい……。  
でも、別にこれでつづくんだよ?

たがにあはれの物

ボクのルーツが何して覗いてたの?

國立民族學研究所民族學系

せり、ボクのじんだいじゆく味があなぞ。

それとも、スカートの中？

卷之三

ねえ、ボクの「ト……好也？」

……そう、好きなんだ。ありがと

ボクね、色々な人に印象されたかったらしくな、県の人口、一概に記載していないの

「ハコトリカツレ、ルダセツリ」

「ハラガタカツレ、ルカツリ」

なにだかボク……ハリに興味持つのかやつた

だつて、何だか可憐でいたから。結構かわいいのか、大猫みたつてこのか……うーん、和みヰ

ヰハ。

よくあること。なんだかおおたんじなんだよな。おひ、わしあわしゃむ……

【露を隠す】

「へへへ……やつめの向隠

ボクたちのい裡性のかわしねなじね?

……ね、見ておわよいか?

「じいかのいへ、ひたへ、やつめの向隠のたんじやなこ。」ハジタリ。スカーフの中

ボクね、「ハリは隠されかた」ハジタリ。

ガード固こ。女の人も隠して覗かたこよひに隠す。

たつて、恥をかかして隠す。

でも、ハリの態度次第でせ……物販の

ね、股、わつぱくぱくして

ズボンが崩れあがひ、ぐるわせかぬ匂ねかひにいたのかやつひの……

ね、ズボンの中、覗かで

て、……ううう、穢れやのじやなこだかひ……

せひ、ベントを外して……サヤシクをくわのこい……。

【スマスマード】

アーリ……ハリのオナシナフ……「うるさい」大きくなつて

それに、変な匂こ……でも、美音しつだね。せんつ……

ちゅ……こむづこ……ひる……せひ、大人しへ

ハジシやなこじ、あひし覗かれたいたる……それと、ヤフヤー、と……バーハンがやつて

う……

じこ体験やあぬこんだからこづよ。ハジシヤリ……腫脹たるでしょ。

ん……たつて、かかののかつて、ルミの……は、く、へわ、と……も、く……簡単……たつて……

ん……たつて、外の坂までの黒くたつて、黒の中の黒が、ハハハ、ゆのまなみだか

「ううむ、どうも君が二歳の誕生日をどうしたか? どうした? どうした? 田口向やねほりんなこなつか

ん……はあ……！ らら……美味い……

でも、(+)から先はタタジやあしてあげられないね。だから  
ねえ、今からオナーハーツみせてよ…

ナリのナハボ……一生懸念レジでし現セレ。

キリはホリ「二昧の変態スマークーなんだから、そんなこと朝飯前でしょ?」  
……ルーフ、めちゃくちゃで解け持ち上位!。もうひと握り——

「おお、我様がボクの唾液が飛んでしまったのですから、どうぞお手を貸して下さいね。」

グチ「アホの言が少し……ぬぬ、アホ」と……

アーチーは、なぜか、彼の心の中に、

最初はゆっくりだったのに……手の動きが、だんだん激しくなつてゐるよ?

遠慮しなくて、このままナハルのへりこみだよ。

三月の回数で賃料相、二月の半数で賃料を

そうしたら、ボクの方からも、いつはいいから」としてあげる

ふふ、キーリの跡中、結構凹いんだね

はむ……ん、柔らかい耳たぶ……ちゅ……

ちゅうぶつ……ちゅうめんか……ふふ……耳好きなの……？

この通り、話せばわかるが、どういたしまして。

ପାଇଁ...ପାଇଁ...ପାଇଁ...

長いの細筋の盐せりへ。感心へ。  
長いの細筋の盐せりへ。感心へ。

せいかが止まつた

休んじゃ駄目だよ？

もつとしつかり方十一—続け?—

それとも、ボクがしてあげた方がよかつたかな?

……………うう、黙つても分からなじよ？

わやんと……△の□で教えて?

【本居宣長】「『伊勢物語』に『伊勢物語』の題材がある。

……ひる、とくとくした。わざわざ、ね?

あつたかくじ、木くじ……何だか羨ましいな……

初めてでしょ？自分以外の人にしてやるのって……

他には誰もいない教室の中で……ボクたち一人だけ、「んな」としゃ……

なんだか変態さんみたいだよね……

ねえ、どうが一番感じなの？

先の方、根本の方。

……ボクだけに、教えて欲しいな?

おとせりと感じたまま見だしから机

【絕頂】

ん? どうしたの?

あ、もしかしてバ schiやつた?

こんなに大きくなつちやつたら仕方ないか

ボクのお股にあるものが何かつて……そんなの、イチイチ聴がなくても分かるよね?

卷之三十一

ナリハシテ、のと同じ。男

「ハサミで切ったし、誰にも切らなってもらいたいんだ」

……先に聞かねばどうぞ、と尋ねたが、そんなつもりは無かつたんだからね

実際駆してなしし

勝手に勘違ひしてたキリが悪いんだから……

気持ち良かつたの？ 悪かつたの？ どちら？

卷之三

そうしたら、ボ

ほり、よく見て

別に勝負で競うにこだわらぬ

おいたへや）、変態たなあ……

じのせ顔が見られた。ついでかここんでしょへ

最低なドスケベつぶりだね……

胸に手を当てるのと、ハサクたた撫持かでこいつはこじなつたのが分かることだ

ミルヘ・ナハラセジルヘ

ノ力

チンポの」としか頭にないの?

のチャンポマニア。デ変態

「ボクの胸、そんな『魅力無』のかな?」

確かに少ないかもしれないけど、女の

今から脱げから、ちゃんと確かめよ

……。口元の無言が、田中、村井と並んでいた。

おじやなこと、乳首が擦れてイきがけたりおじやなこと、乳首が擦れてイきがけたり

胸は全然なしにと先せんほどさせ感じやうしたよ。

……ねえ、お前にひかねば

ひやあひ……ひ、はあ……ああうう……わんわん、急に……立つ揚げ、なんて……

かうひ……ひさあさひ……！

ああ……ホの手、手、濡れぢや、トトトの力、ハ、止ま、たしよお……

「いやあ、……お腹触りたいんだがなの」「……ボクも、いやあがいいよ……

つまらなくなつて……ああ……

そうに決まってるよなー。

ん、おひさへ、まつ……まつ……お、こーんがめ、歸る……

卷之三

変態のベセに、余計な遠慮しないの。ほり……

【ヒロイン全裸】

二二二

……うぐー。机の上に置かれたカギ、錠と鍵屋ナハヤドーン。  
わへ、団を喰ひやがれども  
睨たじてしまふ。

キ//カボウの筋細にこだわったかうじゆがいたの  
ボウが、川の邊のせ、金輪キ//の邊にたどりよる。  
だから、わやそい離隔したまへりや……  
逃げたまづ、最後まで坂井の壁へしなべのやうにまづこ//  
ボウは馬のや、船は度態

秘密を共にあらじるにいたかへ、わがキ//とボウは離れたひだま

キ//とボウせ、巡回体

キ//の体はボウのや。ボウの体はキ//のやの

……だから、お町に向をしとまつて  
たじばま……ボウのやの申し入れぬとか、ねへ。

わがのこボウにこたへばといだごよ。へだぬのせんたじせんのや。今かぬじよへ。

ルツヤお出面ね、眞じんねまつて  
だいじ、難通しだこじやなまこ。わがやの玉ゆばり、サハドを旅の旅めなまし……

でわ……入れたじよでしまふ。

ここよ……ボウで眼かつたひ……

ただし、条件があの  
ボウのチーメン、詰めしむだなまこへ。

イヤだなまこい思ねなまこでしまふ。

だいじ、キ//の玉へをボウの申し取入れてお土のこだから……キ//の玉へボウのやを取

入れなまこい詰めしむだなまこめ。

だからせむ、詰めなまこよ

ルツヤ、おのへどり口を喰ひ土し……門を封ふ……

ひひひ、本物はまぬまぬい離わなかつた

冗談のつむぎたつたのじ……

カツシムシ回の監かう玉いのこだいよ、「ハ  
ルズの口に仰むなまこ、眞じんねまつて  
じや、業達しかつたじよでしまふ。

キ//のじめ態だわこだ

あつじゆのあたと離ついたボウのチーメン、朝起しおやいへのこだくだむと……

わかたぬ。ボウのチーメンを飲んだいじかねのせ、キ//に土しかつたまつた  
ルツヤの由屋で、たつた一人

つめり、キ//をボウの特別な人のじよ

だから、お尻の穴の(じとも)、”特別に”教えてあるの……  
ほり、(じ)褒美だよ

一〇九一

○正月の夜は、月が昇るといつて、月の昇る夜を正月の夜と呼ぶ。

だから、ホルモンにあなたのチンポ……入れてみて?

插入

ああ…………ん…………入った…………ボクのむのやなお尻の穴の中…………でつかいチンポが…………うう  
あ、ああんっ!!

だめ……かうと優しくしてみたが、いつの入れられたり……壊れりやつ……

卷之三

「ナナナナナ、進むたびに、なんだか変な感じ、あります……」

よく分からぬい五七、……太田ノ子ノをソレハシ物の藏持のよれヒ五全然違ひシ、……あん、……

卷之三

お腹の中が、グジュグジユツ……あ、はあんつー。

ぜ、全部入っちゃった……ボクの初めて……あげちゃった……

………

やあんつー！

ああ……こうやね……」JR東日本……あの……

重くたびに熟くへて……それに……肉椿が動くたびに大きくなつて……

分かつかやつよ……………!!」全部…………手に取るよつてばついにわいに来りやつよ……………

感じて……ボクのオチンチンも……んつ……勃起して……来ちゃうよお……

ボク……イチヤウ……ボク……ボク……ボク……ボク……ボク……

卷之三

あ、や……はあん……あ、やあ、あ……やああああああああああああああああああ

オーガズム

「ああ、あれから、おまえの仕事は、どうだ？」  
「ううん、まだ、仕事は、ないんだよ。」  
「ううん、まだ、仕事は、ないんだよ。」

「それからも、気持ちいいよ……このままいたいのやつた  
……だから、明日もしてられないかな?」

それで、一緒に販売始めた  
ボクと、変態なキリ